

## 一般演題1「認知行動療法を用いた介入を通して、自己効力感の向上に繋がった症例」

仙台総合病院 佐藤亜美 氏

質問者:東北保健医療専門学校 上遠野純子 氏

### 【質問およびご意見】

大変興味深く、発表を視聴させて頂きました。発表して頂いた事例は、まず一般的な大腿骨頸部骨折人工骨頭置換術のクリティカルパスに則った機能回復の状態像が得られていなかった事例なのでしょうか。その要因が自己評価が低く、ネガティブな自動思考と考え、認知行動療法を取り入れたと解釈してよかったか、お聞かせください。

### 【演者からの回答】

機能回復自体は問題なく進んでおりましたが、大腿骨頸部骨折人工骨頭置換に加え神経症状が出現していたことで感覚障害自体の機能回復は緩やかでありました。機能回復過程を症例と共有しつつ介入は進めており、症例も理解しておりましたが他患者と比較することで自身の回復が遅いと感じてしまったり何もできていない等、他者比較が要因となり自己評価が低くなってしまっていました。そのため認知行動療法を取り入れた症例でした。質問ありがとうございました。

## 一般演題4「作業療法の魅力について考える～臨床実習の経験が少ないまま卒業した新人作業療法士の実践～」

長町病院 田中晴菜 氏

質問者:東北保健医療専門学校 上遠野純子 氏

### 【質問およびご意見】

コロナ禍で臨床実習を学内演習に切り替え、どのように運営されていたかを表現されているとともに、コロナ禍に卒業した方々が、入職後にどのような新人教育をされているのかもわかりやすく発表されていました。考察であったように、情意領域で学ぶべきことはやはり臨床実践でしか培うことはできないと教員となってからでも、私は思っておりますが、これからの OT としての道のりでも、ずっと学んでいくことかと思しますので、ひとつひとつ習得して行ってほしいと思います。ひとつだけ、質問です。先生がいま現場で CL やプリセプターの方々に教えるこうときに大事にしていることは何でしょうか。養成校の教員として、それらは在校生に伝えていきたいことかと思えます。よろしく願い致します。

### 【演者からの回答】

ご質問有難うございます。CL からの教えるを乞う際大事にしていることとしては、CL は年齢からも自分より歳上であり、経験値も多いため敬意を払うということを第一に意識するようになっています。

プリセプターの方や先輩方から教えるを乞う際としては聞きたい内容や教えて頂きたい内容を専門用語を用いて、具体化し簡潔に自分の考えを添えた上で質問しようと意識していますが、その部分は自分の課題でもあります。学生時代に臨床を想像し専門用語を用いることをもう少し意識して過ごせたらと思います。参考になれば幸いです。

## 一般演題5 「不安症状の強い認知症患者に対して安心感の充足を目指した介入実施報告」

エバーグリーン病院 泉谷蒼磨氏

質問者：東北保健医療専門学校 上遠野純子 氏

### 【質問およびご意見】

発表ありがとうございました。対象事例の BPSD に関して関わるスタッフの方が統一した、共感的な関り方がまず、対象者へ安心感を与えたのではないかと思いました。元々とても几帳面な方なのではないかと思われることから、その能力を生かしてのアプローチが対象者の行動にも一部変容がみられたのではないのでしょうか。認知症の方でも、何でもないところ（私はそのように思っております。）が相当重症の方でもあります。それを生かしてかかわりが出来るとよいのではないかと思いました。

### 【演者からの回答】

ご質問ありがとうございます

今回の対象者の方は「自分は馬鹿になってしまった」と話す事が認知機能の低下によるものだけでなく、生活歴の中できっかけとなるエピソードが多くある方でした。そこから来る不安感もご本人様の自信の低下の要因であると考えております。一方で自身がそういう経験をしているからこそ不安を抱えている他者に対して共感的に関わる場面も見られておりました。日中はそういった他者との交流も本人らしく過ごせていたと考えております。ご家族様の介護疲れもあり施設方向が濃厚なのですが現在の役割の中で十分生活できる段階だと思います